

# 國末貞仁



## ◇プロフィール

香川県高松市出身

10歳の時、古高松小学校吹奏楽部でサクソフォーンを始める。

香川県立高松高等学校、東京芸術大学を経て、同大学院修士課程修了。

1996年、第13回香川ジュニア音楽コンクール管弦打楽器部門総合第1位、併せて香川県知事賞受賞。同コンクール受賞者記念コンサート「'96高松テルサ音楽祭」においてグランプリ獲得。

2000年、第4回若手奏者のためのコンペティションデュオ・室内楽部門において奥村友美（ピアノ）とのデュオで第1位、併せて2005年日本国際博覧会協会賞受賞。

2004年3月には、ヤマハ主催中国4ヶ所（天津、煙台、成都、広州）を巡るクリニック&コンサートツアーを成功させた。

2005年、第22回日本管打楽器コンクールサクソフォーン部門第3位入賞。

また、これまでに第4回別府アルゲリッチ音楽祭、ヤマハ管楽器新人演奏会、文化庁舞台芸術国際フェスティバルをはじめとする数多くの演奏会に出演。

現在は、ソロ、室内楽の分野で精力的に活動するほか、東京佼成ウインドオーケストラ、NHK交響楽団をはじめとした国内主要オーケストラのエキストラとしても活躍している。

よんでん文化振興財団奨学生、あんさんぶっかけ・さぬき座座長、板橋区演奏家協会理事、サクソフォーン四重楽団「Quatuor B」、サクソフォーン五重奏団「Quintet CIRC」、Blitz Brass各メンバー。

これまでにサクソフォーンを西宇徹、須川展也、石田智子、二宮和弘、富岡和男の各氏に、室内楽を中村均一氏に師事。

また、故 前沢文敬、中村均、故 阪口新、Eugene Rousseau、Jean-Yves Fourmeau、Otis Murphyの各氏のマスタークラスを受講。

## ◇演奏曲目

### ♪ピアソラ：タンゴエチュードより

ピアソラは、1921年にアルゼンチンで生まれた作曲家です。

もともとタンゴは踊りのための伴奏音楽で、強いリズム性とセンチメンタルなメロディをもつ展開の分かりやすい楽曲でした。ピアソラは、そのタンゴの音楽にバロックやフーガといったクラシックの構造や、ニューヨークジャズのエッセンスを取り入れることで、強いビートと重厚な音楽構造の上にセンチメンタルなメロディを自由に展開させるという独自の音楽形態を生み出したのです。

1992年にこの世を去りましたが、彼の作品は多くの人々に愛されています。

今日演奏するタンゴエチュードもそんなピアソラの魅力がいっぱいつまった曲です。

### ♪ボノー：ワルツ形式によるカプリス

ボノーはフランスの作曲家。

ワルツもまた、もともとは踊りのための音楽でした。

この作品はサクソフォーンのために書かれた曲で、僕が初めてこの曲を聴いたのは、小学生の時でした。

西宇先生からお借りした須川先生のCDに入っていたのですが、その当時は、「こんな難しい曲、絶対一生演奏できないだろうな…」と思っていたのを覚えています。

カプリスとはいたずらとか気まぐれという意味の言葉ですが、音楽用語では綺想曲と訳されます。遊び心満天の素敵な曲です。